

製品・サービス動向-国内

■イー・アソシエイツ：ネットワーク障害時にも電話会議の利用で IR オンライン会議を中断させないプラットフォーム「C-Meeting8」をリリース

(PRTIMES：9月7日)

イー・アソシエイツ株式会社 (<https://www.e-associates.co.jp/>) (東京都千代田区、以下 eA 社) は、9月7日、企業の IR オンライン会議プラットフォーム「C-Meeting8」を新しくリリースした。

eA 社はこれまでも、親会社である Chorus Call Asia 株式会社 (<https://www.choruscallasia.com/>) (東京都中央区、以下 CCA 社) が提供する電話会議・Web 会議プラットフォームを使用して企業の IR オンライン会議サービスを提供してきたが、企業の強いニーズに応じて、この度ミッションクリティカルな IR オンライン会議を実現させる C-Meeting8 を CCA 社と共同で開発しリリースした。

C-Meeting8 の大きな特長は、高画質・高音質の通信とネットワーク障害への対応力を備えているという点。特に、IR 説明会のようなミッション・クリティカルなオンラインイベントにおいては、社内会議等で使われている汎用的な Web 会議サービスなどでしばしば発生する通信障害は許されないため、音声通話による最低限の安定的な通信の確保と、Web 会議の利便性の双方を同時に実現するサービスが強く求められていたと CCA 社では説明する。

そういったニーズに応えるため、C-Meeting8 は、高画質、高音質に優れたビデオ IR オンライン会議の提供が行えるのに加え、万が一のネットワーク障害時には従来の電話会議を利用することにより会議を中断させ

ない安全性を持たせている。さらに、運用面においても、インターネット接続の参加者と、電話会議接続の参加者を同一画面にてコントロールできる優れた利便性も兼ね備えているとしている。

※関連記事：2022年6月15日号

■ZVC Japan：Zoom Team Chat がさらに進化、名称変更と新機能追加、ブランド強化も発表

(PRTIMES：9月14日)

Zoom Video Communications 社 (米国・カリフォルニア州) の日本法人である ZVC Japan 株式会社 (<https://zoom.us/>) (東京都千代田区) は、チーム内外との迅速かつ安全なコミュニケーションを可能にするコラボレーションの要である「Zoom Chat」の名称を「Zoom Team Chat」へと変更し、新機能を追加することを発表した。またブランド強化策の展開も発表した。



Zoom (ZVC Japan)

Zoom のチャット機能は、単なる画面下部に表示されるミーティング中のチャットの吹き出しをはるかに超えるものという。Zoom が人とひととのつながりを生み出す唯一のプラットフォームであり、その中で

Zoom のチャット機能は、すべてのワークフローをつなぐハブとしての役割を持っていると同社では説明する。

Zoom Team Chat によって、メッセージング、ファイル共有、サードパーティアプリケーション、ビデオ、音声、ホワイトボードを一つのアプリケーションにまとめることができ、共同作業を円滑に行えるようになる。つまり、ユーザは、Zoom Team Chat のどの会話からでもホワイトボード上でコラボレーションしたり、チャットをミーティングや電話に移行させたり、録画したビデオメッセージの共有なども、すべて Zoom プラットフォーム内で行うことができる。加えて、Zoom Team Chat は、組織内の従業員間でコミュニケーションするためだけのものではなく、ベンダー、クライアントなどの外部連絡先とのシームレスで安全なコミュニケーション体験を提供する。チャットチャンネル内に外部ユーザが存在する場合の通知の仕組みもある。

提供予定の新たな機能は以下の通り。(1) ミーティング内チャットを Team Chat で共有する。(2) チャットまたはチャンネルから Zoom ミーティングのスケジュールを設定する。(3) リマインダー機能を使って勤務時間を管理する。(4) ミーティングの招待にチャットで応答する。(5) プログレッシブウェブアプリ (PWA) 対応の新しい Zoom Team Chat は、ブラウザから直接 Team Chat にアクセスできるため、Zoom アプリがなくてもどこからでもチャットにアクセスできる。

以上のほか、同社は、ブランド強化策の一環として、ブランドカラー、タイポグラフィ、製品アイコンを更新し、Zoom のユニファイドプラットフォームを表現する新たなビジュアル要素を導入したグローバルキャンペーンを開始するとも発表されている。

すでのおなじみの Zoom のロゴは変わらないが、キャンペーンの中心となる新ビジュアルでは、Zoom の「oo」をアイコンに置き換えて Zoom が人と人とのつながりを生み出す唯一のプラットフォームであるこ

とを表現しているという。また、新しい Zoom Team Chat のアイコンをビジュアルの先頭に配置し、すべてのワークフローをつなぐハブとしての役割も示す形になっている。

ビジネス動向-国内

■ブイキューブ：BtoB 特化型のメタバースイベントプラットフォーム「ZIKU」を提供するジクウとの販売提携を発表

(PRTIMES：9月14日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、株式会社シャノン (東京都港区) の子会社である、株式会社ジクウ (<https://ziku.inc/>) (東京都港区) が提供するバーチャル空間上アバターで“出会える/つながる/体験する”メタバースイベントプラットフォーム「ZIKU」の販売を開始すると発表。

コロナ下で企業におけるオンラインセミナーやオンラインイベント実施例が増加する中、一方では“オンライン疲れ”が指摘されているという。そのひとつの解決策としてメタバースの活用が注目されている。

ブイキューブは 2022 年 1 月から、メタバースを活用したコミュニケーションへの本格参入を発表。それ以降、さまざまな利用シーン、利用用途を想定し、同年 4 月には防音個室ブース「テレキューブ」でメタバースを体験できる「メタキューブ」を発表している。今回はさまざまな領域の中でも BtoB 特化型のメタバース活用をさらに普及させるべく、ジクウとの販売提携に至った。

ZIKU はイベント主催社と出展社、来場者がバーチャル空間上のアバターで“出会える/つながる/体験する”メタバースイベントプラットフォーム。実際のイベントに参加しているような体験を、3D バーチャル空間で簡単に実現できる。

今回、高品質なメタバースを提供するジクウと、

2021年に9000回以上のオンラインイベントを開催サポートしてきたブイキューブが提携することで、オンラインセミナーやイベントをアップデートし、メタバースならではのリッチな顧客体験を創出し来場者数の増加、商談化率の向上といったBtoBイベントの目標達成に向けた新たな提携価値を創出していくとしている。



なお、ZIKUのサービスは、ブイキューブが提供するオンライン配信サポートサービス「V-CUBEセミナー」ならびに運用サポートと一緒に利用できるようになっている。ZIKUメタバースプラットフォームを含むシステムの設定準備から開催後フォローまで、一連のプロセスにおいてイベント成功に向けた伴走支援を提供する。

導入利用動向-国内

■ベルフェイス：司法書士法人みつ葉グループがオンライン営業システム「bellFace」を採用

(PRTIMES：9月1日)

ベルフェイス株式会社 (<https://corp.bell-face.com/>) (東京都港区) は、司法書士法人みつ葉グループ (<https://mitsubagroup.co.jp/>) (東京都港区) がオン

ライン営業システム「bellFace」を活用したオンライン面談を開始すると発表。

みつ葉グループは、相続に関するお悩みや相談に対して、最適な提案・サポートを行っている。相談者から電話にてお問い合わせを受け、その後専門の司法書士が面談する。コロナ禍以降では、対面だけではなくオンラインでの面談を希望する相談者が急増したため、ビデオ通話を利用した面談を行ってきた。

しかし、実際に相談を頂く方と各種SNSサービス等を利用した動画通信を行う際、相談者の環境によっては、接続の手間がかかってしまう、スマートフォンの通信量がかさむ、あるいは、帯域の確保の問題などにより接続が不安定になったり、接続自体が難しい場合もあった。そのような中、よりスムーズな案内を差上げるため最適なソリューションを常に模索していたという。相談者に負担をかけてしまうことが課題だった。

bellFace接続中にゲストが撮影した写真を商談画面に転送することが可能



bellFaceの写真撮影機能のイメージ (ベルフェイス)

bellFaceは、アプリインストールやURL発行などの事前準備が不要で、電話とPC・スマートフォンを使って簡単に資料や画面の共有ができるオンライン営業システム。bellFaceは接続時の設定が不要なため、相談者からいただいた電話をつないだまま接続し、スムーズに面談を始めることができる。またbellFaceはブラウザベースで接続をするため、相談者のスマートフォンにかかる通信量を軽減することも可能。加えて、申込時の本人確認として、標準機能のライブ配信機能や新機能の写真撮影機能を活用する方法も提供されてい

る。また、bellFace の録画録音機能を活用し、顧客データや相談内容の記録・管理を行うこともできるようになっている。

みつ葉グループでは個人情報保護の観点から、セキュリティ国際規格 ISO27001 (ISMS) 認証を取得しており、同規格認証を取得しているといった点からも、安心して bellFace サービスを導入することができたという。今後はさらに、オンラインでの本人確認を行う仕組みである eKYC システムとの連携も視野に入れつつ、確実な法的サービスを相談者に提供するべく bellFace を活用していくという。

セミナー・展示会情報

<国内>

■AVer リモートカメラ+Shure 天井設置型マイクロホンで組む「ハイブリッド会議・ハイブリッド授業向け カメラ自動追尾システム」

日時：9月16日（金）10:00/14:00

（※各回 60 分、4 回のセッションは同内容）

主催：シュア・ジャパン株式会社／

アバー・インフォメーション株式会社

詳細・申込：<https://shu.re/3ArdE7C>

■ブイキューブセミナー情報（9月）

「Amazon IVS や Agora で始めるライブ配信アプリ開発」「テレキューブ体験会」「街かどでも、オフィスでも！個室ワークブース 120%活用ノウハウご紹介！」「ありきたりなウェビナー飽きてへん？最先端 3D 合成 スタジオ体験ツアー」など

会場：東京、大阪、オンライン／オンデマンド

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（9月～10月）

「コミュニケーション手段にも代替オプションを！ビジネスの継続に備えるために、Webex App のメッセージング勉強会」「ついに日本上陸！ Webex Customer Experience (CX) 製品発表会」「オンラインイベント開催の敷居は高くない。マーケティング活動にマルっと役立つ Webex Webinars のご紹介」「早送り再生や話者フォーカス機能搭載！どんどん充実しているミーティング録画機能の活用方法」など（録画も視聴できます）

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<https://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dtc-forum）

<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は
下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2022年9月15日号おわり

ホームページ: <https://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp